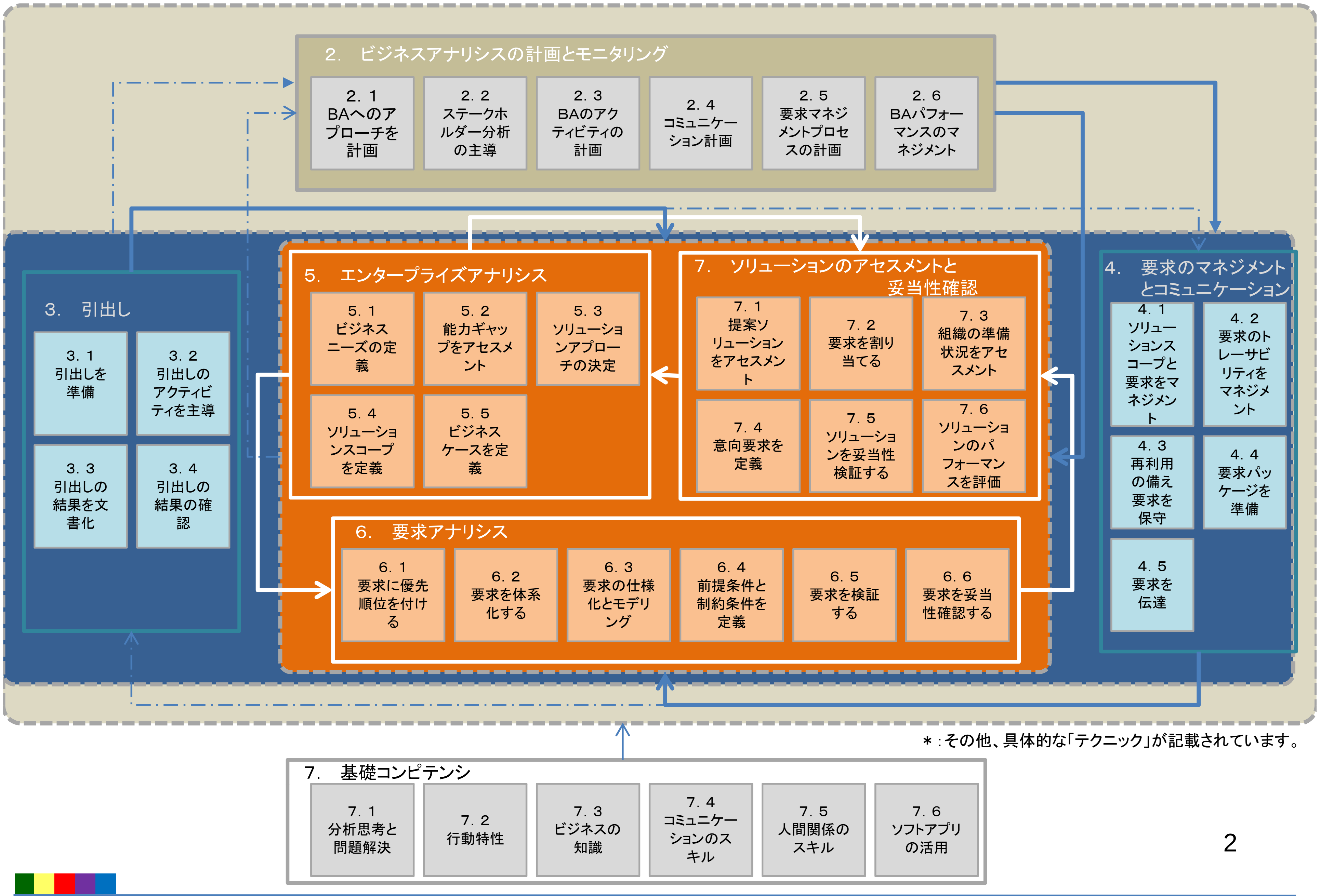
書評
「やさしくわかるＢＡＢＯＫ」
さらに
研究プロジェクトに寄せて！

２０１１．１０

ITコンサル&デザインラボ株式会社
村田茂之

BABOK 2.0 詳細知識エリアとプロセス関係図



＊：その他、具体的な「テクニック」が記載されています。

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

BABOK関係発刊書簡 （2011.9現在）

■BABOK入門　CBAP・CCBA受験対応 伊藤 衡 (単行本 - 2011/2/24)
￥ 2,625

■BABOK超入門 広川 智理、日経コンピュータ (単行本 - 2011/3/21)
￥ 1,890

■やさしくわかるBABOK　清水 千博、銅谷 克樹、川添 真智子 (単行本 - 2011/6) ￥ 2,310

■ BABOK®ガイド完全準拠 CBAP®/CCBA™ビジネスアナリシス... 上巻
Susan Weese Terri Wagner、株式会社トリフォリオ(監訳) (単行本 - 2011/8/8)
￥ 3,500

Amazon.Com　調べ

□手戻りなしの要件定義　実践マニュアル
　水田哲郎（単行本−2011/4）　￥2，940

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

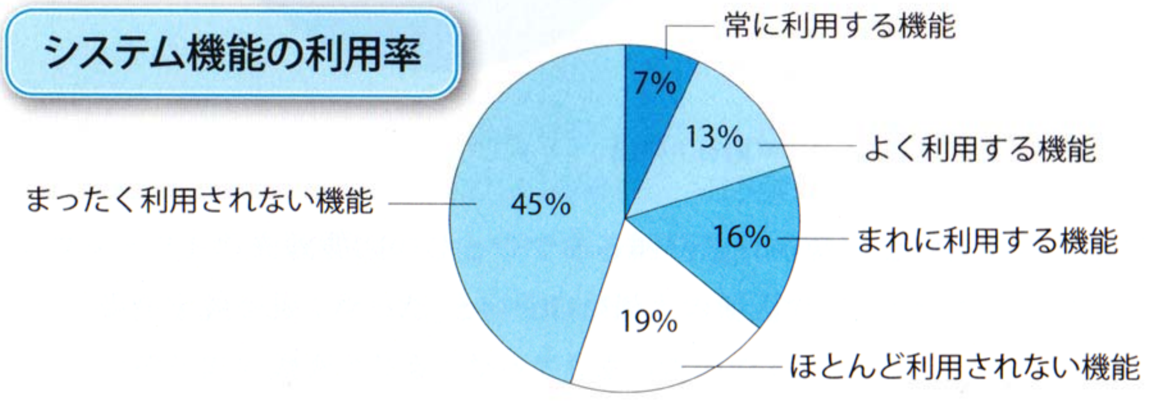
1章　BABOK誕生の背景　より

RFP(要求仕様書)による役割分担

RFPはユーザ企業が作成	16%
ベースはユーザ企業が作成し、細部の作成はベンダに委託	33%
ラフなRFPはユーザ企業が作成、あとはベンダに委託	41%
すべてベンダが担当	9%

出典：JUAS IT動向調査2004

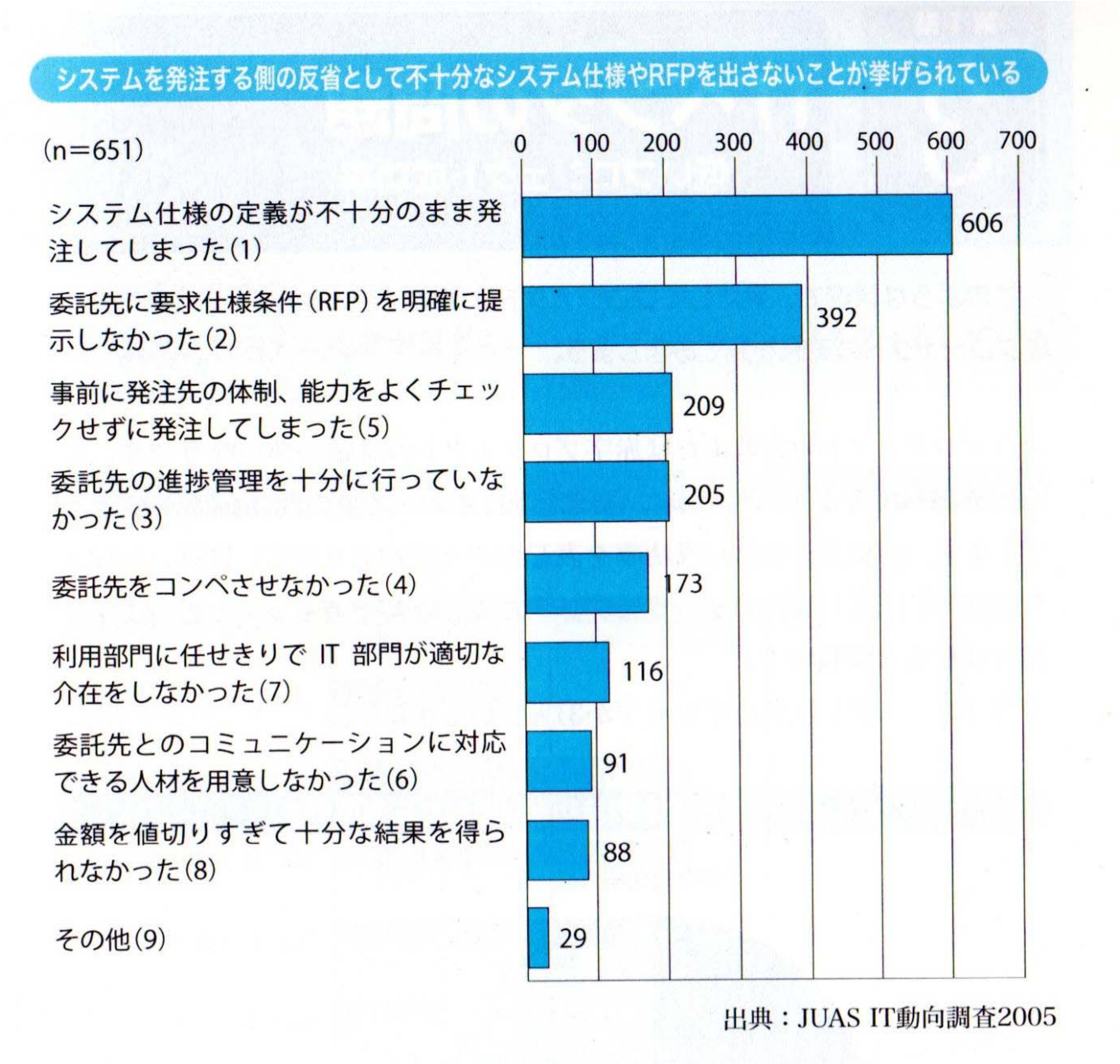
システム機能の64%はほとんど使われていない



出典：2000年CHAOSレポート

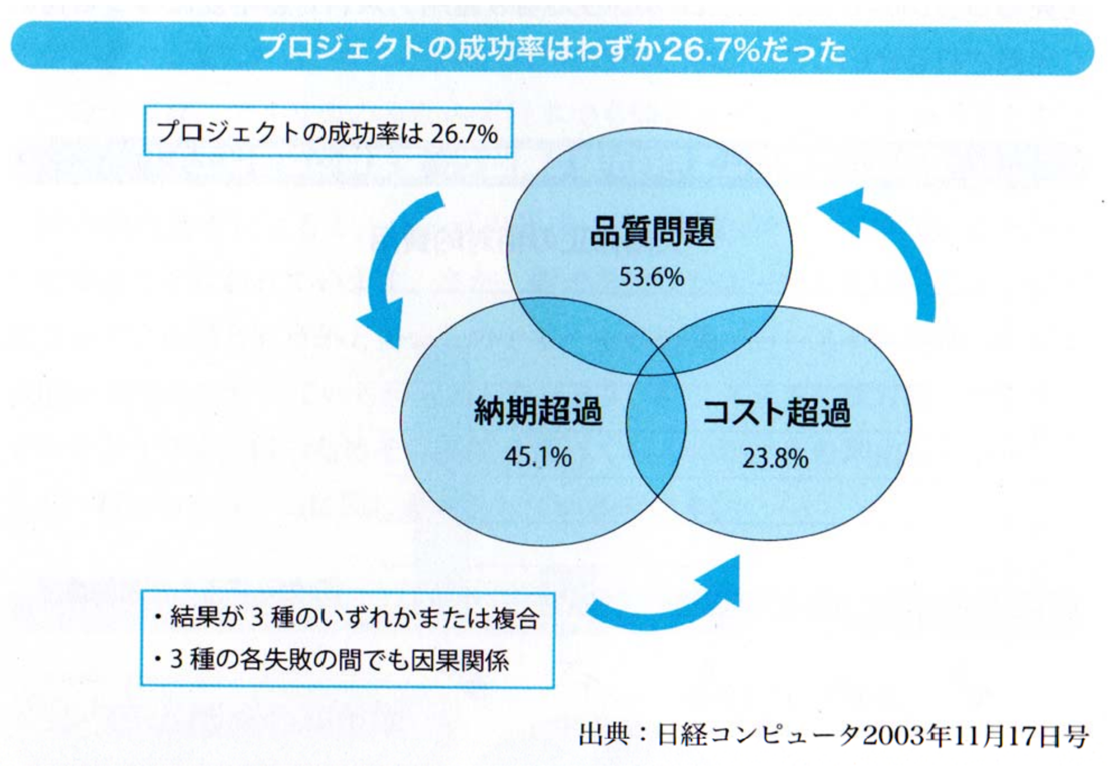
Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

キーチャートにみる概要



Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

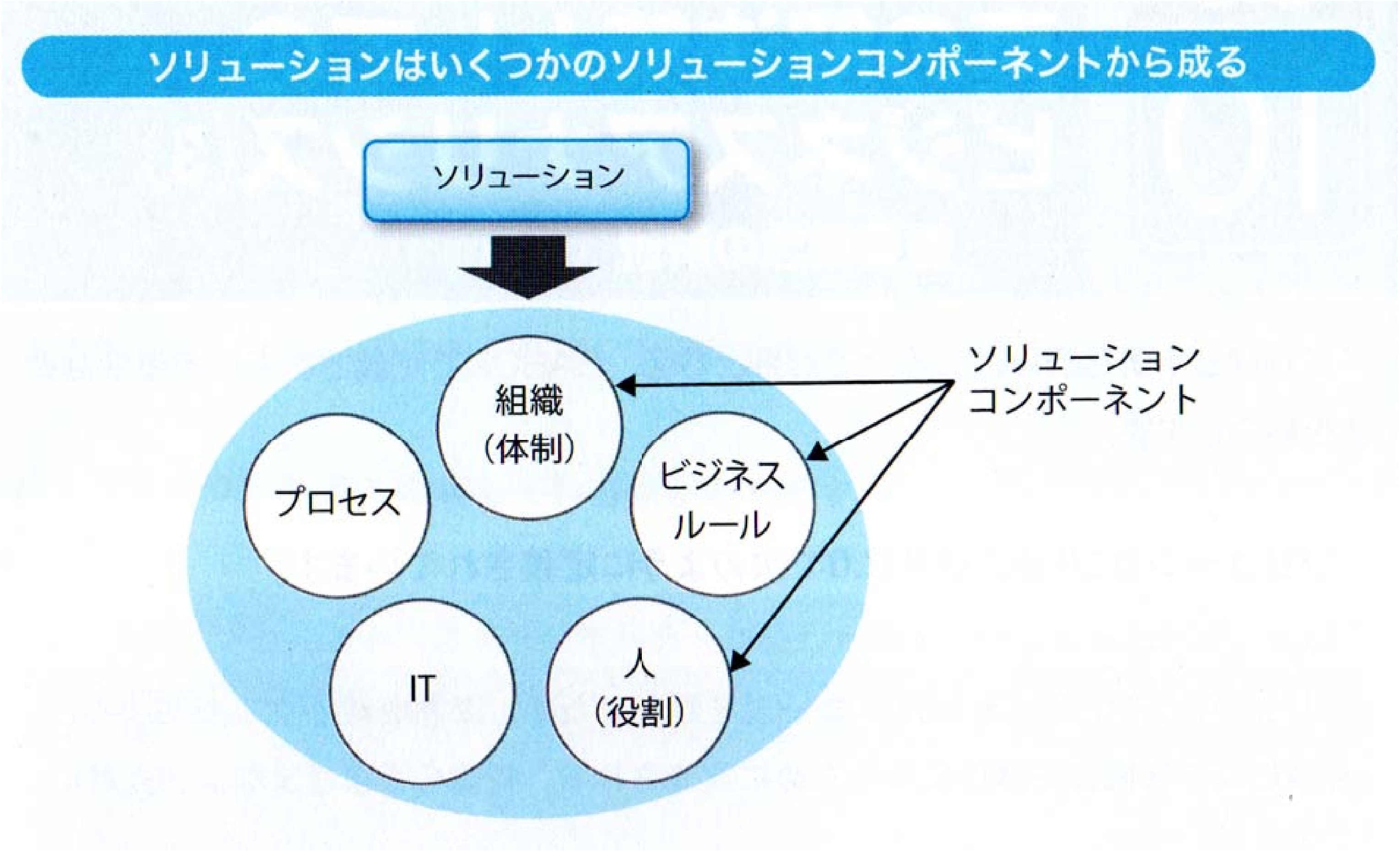
キーチャートにみる概要



プロジェクトの成功率とは？？？？
顧客、ITベンダー等ステークホルダー毎差異はある。
「研究計画」に反映！

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

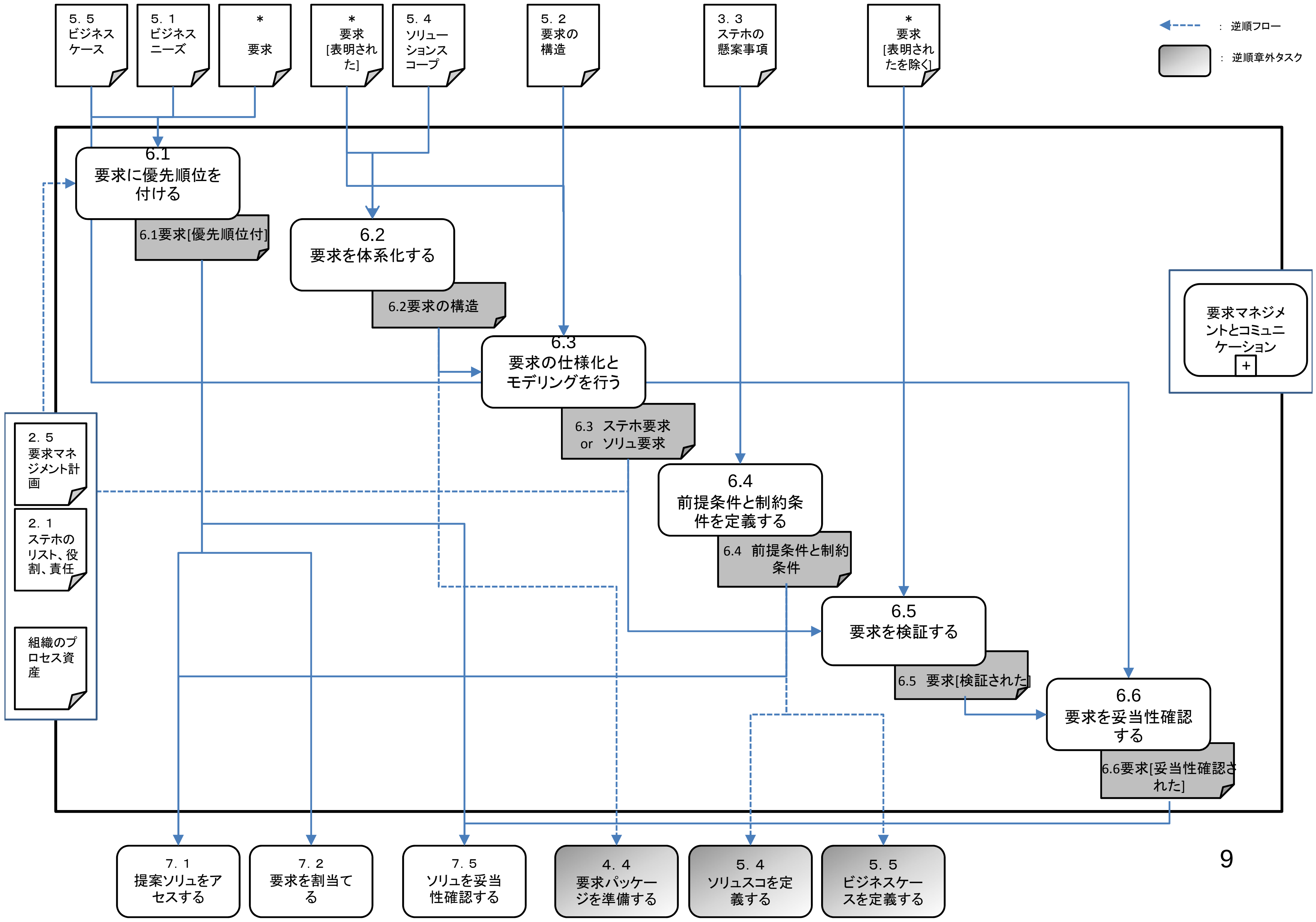
キーチャートにみる概要



Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

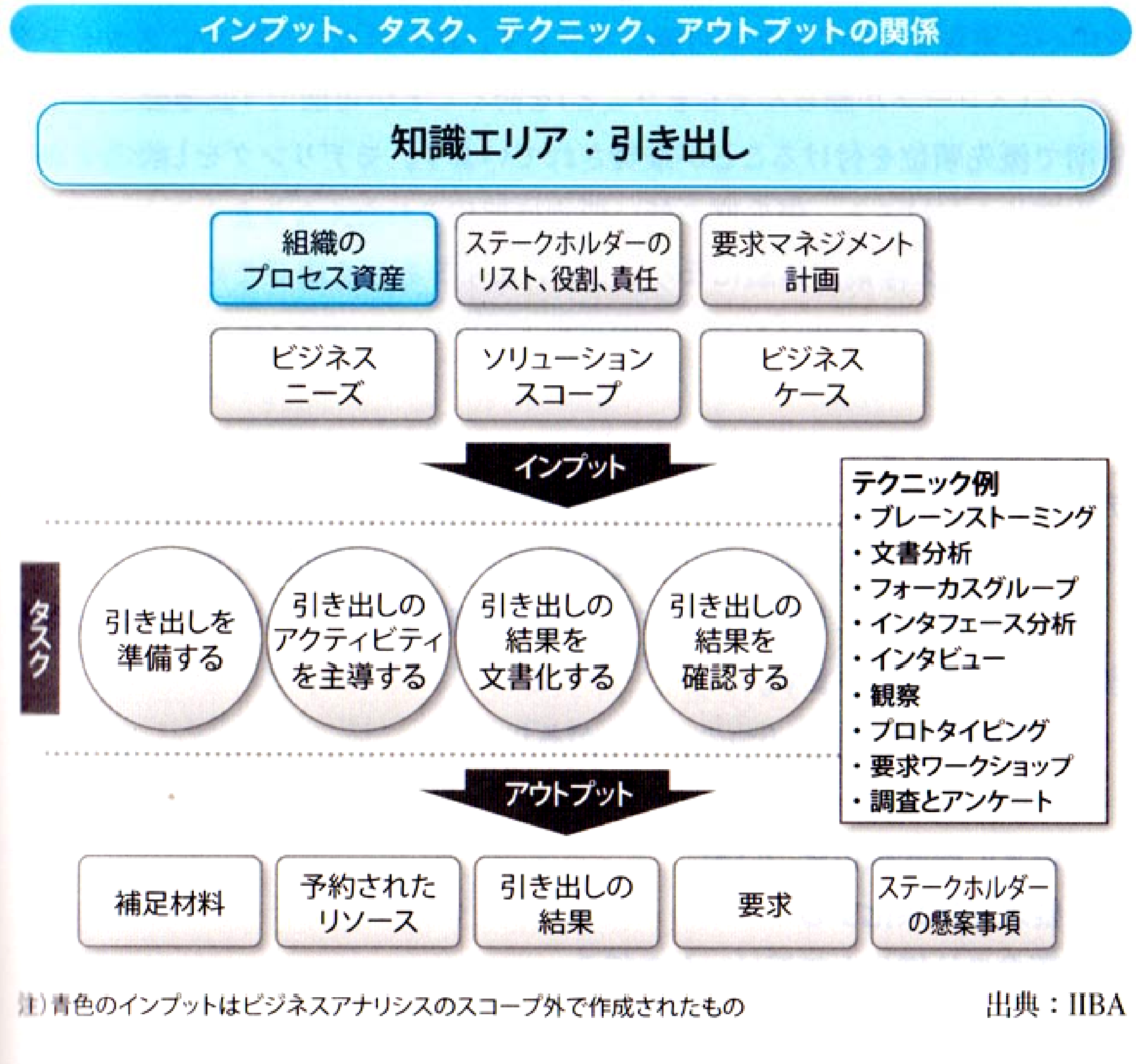
BABOK知識エリア:6章 要求アナリシス

作成:村田茂之



キーチャートにみる概要

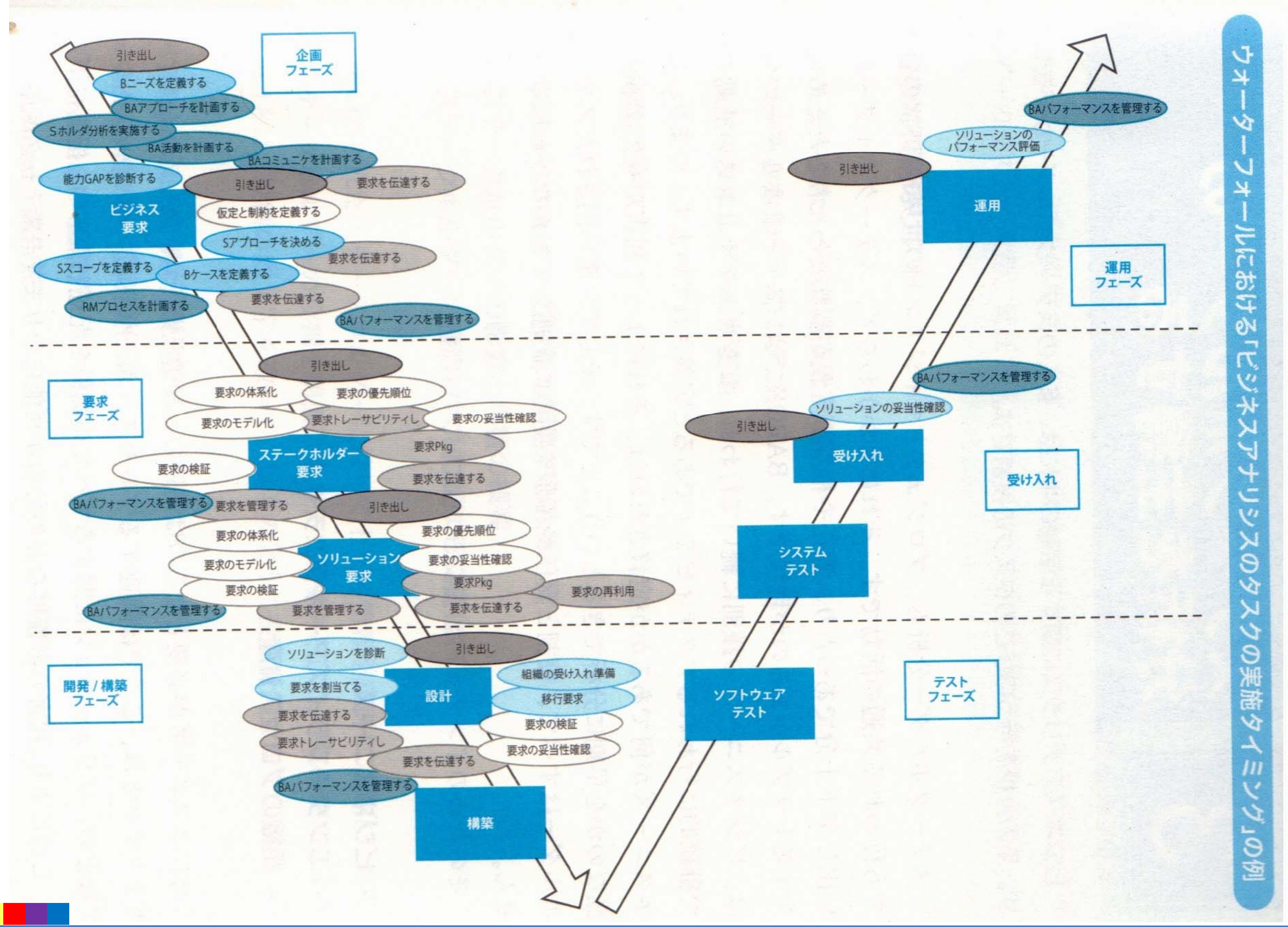
本書における各タスク図解方式



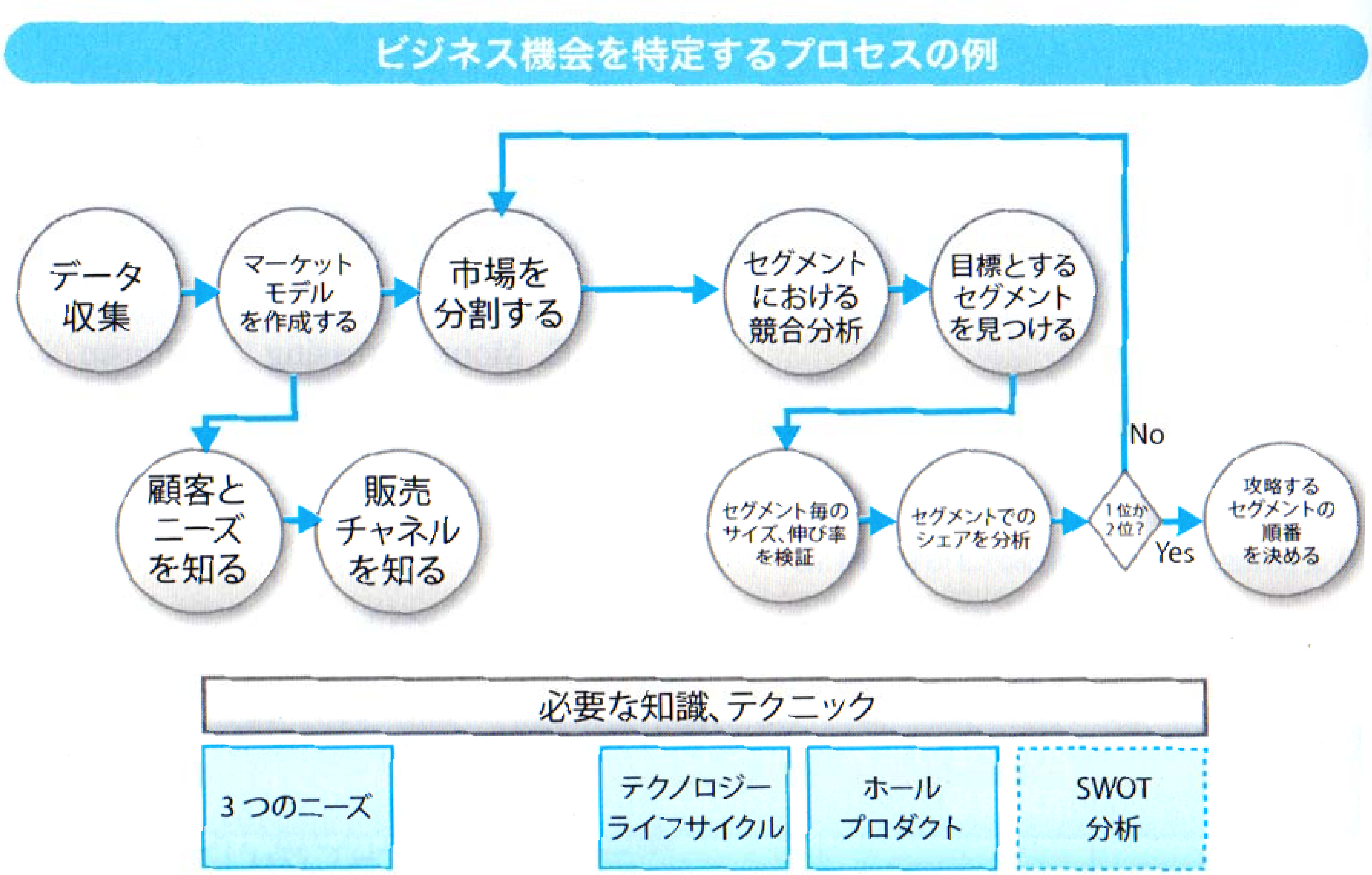
Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

キーチャートにみる概要

ウォータフォール型開発におけるBABOKの各タスクの実施タイミング例



Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.



ビジネス機会を特定するプロセスの例
データ収集
マーケットモデルを作成する
市場を分割する
セグメントにおける競合分析
目標とするセグメントを見つける
顧客とニーズを知る
販売チャネルを知る
セグメント毎のサイズ、伸び率を検証
セグメントでのシェアを分析
1位か2位？
No
Yes
攻略するセグメントの順番を決める
必要な知識、テクニック
3つのニーズ
テクノロジーライフサイクル
ホールプロダクト
SWOT分析

1章　BABOK誕生の背景

1.ユーザ企業の問題（1）
ますます高まるビジネスのITへの依存度
2.ユーザ企業の問題（2）
一丁開発能力の低下・・
3.ITベンダの問題
低いプロジエクト成功率
4.ITベンダとユーザ両方の問題
使われない機能・・・・．・・・・．
5.解決策としてのプロジェクトマネジメント（り
重要だと言われてきたプロジエクトマネジメント．・・
6.解決策としてのプロジェクトマネジメント（2）
プロジエクトマネジメント以前の問題点・・・・・・・・．
7.解決策としてのプロジェクトマネジメント（3）
プロジェクトマネジメントでは解決できない理由・・．
8.真の解決策としてのビジネスアナリシス（1）
ビジネス戦略からソリューション定義まで一気通貫．
9.真の解決策としてのビジネスアナリシス（2）
起上流工程から「最上流工程」への変革・・・・・・・・・・．
10.真の解決策としてのビジネスアナリシス（3）
重要概念の解説・・
11.真の解決策としてのビジネスアナリシス（4）
BABOKの構造・・．
12.真の解決策としてのビジネスアナリシス（5）
知識エリア【エンタープライズアナリシス】・・・・・・・・・・
13.真の解決策としてのビジネスアナリシス（6）
知識エリア【引き出し】・・．・・・・・・・・・・・・・・．・・・・．・・
14.真の解決策としてのビジネスアナリシス（7）
知識エリア【要求アナリシス】・・．・・・・
15.真の解決策としてのビジネスアナリシス（8）
知識エリア【要求のマネジメントとコミュニケーション】．
16.の解決策としてのビジネスアナリシス（9）
知識エリア【ソリューションのアセスメントと妥当性確認
17.真の解決策としてのビジネスアナリシス(10)
知識エリア【ビジネスアナリシスの計画とモニタリング】.
18.真の解決策としてのビジネスアナリシス(11)
知識エリア【基礎コンピテンシ】.

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

2章　エンタープライズアナリシス

1.知識エリア【エンタープライズアナリシス】の全体像‥‥.
2.ビジネス機会の特定（1）
　顧客とニーズ‥‥‥‥
3.ビジネス機会の特定（2）
　3種類のニーズ‥‥‥
4.ビジネス機会の特定（3）
　顧客セグメンテーション
5.ビジネス機会の特定（4）
　セグメントにおける競合分析‥.
6.ビジネス機会の特定（5）
　目標とするセグメントを見つける
7.ビジネス機会の特定（6）
　テクノロジーライフサイクル‥.
8.ビジネス機会の特定（7）
　キャズムと顧客の特性‥.
9.ビジネス機会の特定（8）
　ホールプロダクト‥‥‥‥‥.
10.ビジネス機会の特定（9）
　理想の製品・サービス（ホールプロダクトとして）‥‥. ‥
11.ビジネス＝ーズを定義する
　ビジネスのコールと目標‥‥‥‥. ‥‥
12.タスク：能力ギャップをアセスメントする
13. タスク：ソリューションアプローチを決定する‥‥
14.タスク：ソリューションスコープを定義する.
15.ビジネスケースを定義する（1）
　ROI‥‥
16.ビジネスケースを定義する（2）
　ビジネスケースの例‥. ‥‥.

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

3章　引き出し
1.「引き出す（eticit）」の定義・・・・・・・・・・.
2.知識エリア【引き出し】の全体像…・・・・. ・・.
3.引き出しを準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・
4.引き出しを準備する」タスクで準備されるテクニック
ブレーンストーミンク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・.
5.引き出しのアクティビティを主導する. ・・・・・・
6.「引き出しのアクティビティを主導する」タスクで使用されるテクニック
フォーカスクルニプ・・.
7.切引き出しの結果を文書化する・・・・・・・・. ・・. ・・
8.「引き出しの結果を文書化する」タスクで使用されるテクニック
要求ワークショップ.
9.引き出しの結果を確認する・・・・・・・・・・.
10.「引き出しの結果を確認する」タスクで使用されるテクニック
インタビュー・・・・・・・・.
4章　要求アナリシス
1.知識エリア【要求アナリシス】の全体像・・・・・・・・・・
2.要求に優先順位を付ける・・・・・・・・・・. ・・
3.「要求に優先順位を付ける」テクニック
リスク分析・・・・・・・・.
4.スチークホルダーとの調整・・・・.
5. 要求を体系化する.
6.【モデル化手法】データフロー園・・. ・・・・…・・・・・・.
7.【モデル化手法】プロセスモデリング. ・・.
8.［モデル化手法】アクティビティ図. ・・. ・・・・・・・・・・・・.
9.シナリオとユースケース・・・・・・・・. ・・・・. . . ・・・・・・・・
10.要求の仕様化とモデリングを行う・・・・. ・・・・・・・・.
11.要求の仕様化とモデリングで使用するテクニック. ・・・・
12.前提条件と制約条件を定義する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
13.前提条件と制約条件を定義するテクニック・・・・・・
14.要求を検証する・・・・・・.
15.要求を検証するテク＝ツク・・・・
16.要求の安当性を確認する. ・・・・

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

5章　要求のマネジメントとコミュニケーション
1.知識エリア【要求のマネジメントとコミュ＝ケーション】の全体像
2.要求のトレーサビリティをマネジメントする･･････････▪
3.要求パッケージを準備する･･
4.要求を伝達する･････････････････
5.ソリューションスコープと要求をマネジメントする･･
6章ソリューションのアセスメントと妥当性確認
1.知識エリア【ソリューションのアセスメントと妥当性確認】の全体像･･
2.提案ソリューションをアセスメントする･･▪
3.要求を割り当てる･･.
4.組織の準備状況をアセスメントする･･▪. ▪･･
5.移行要求を定義する････. ･･････････
6.ソリューションを妥当性権能する･･.
7.ソリューションのパフォーマンスを評価する･･. ･･▪･･▪･･
7章　ビジネスアナリシスの計画とモニタリング
1.知識エリア【ビジネスアナリシスの計画とモニタリング】の全体像▪･･.
2.ビジネスアナリシスへのアプローチを計画する････.
3.ステークホルダーの分析を主導する･･････････▪･･.
4.ビジネスアナリシスのアクティビティを計画する...
5.ビジネスアナリシスのコミュ＝ケーションを計画する,
6.要求マネジメントプロセスを計画する･･････.
7.ビジネスアナリシスのパフォーマンスをマネジメントする. ▪
8章　基礎コンピテンシ
1.知識エリア【基礎コンピテンシ】の全体像. ････、
2.分析的思考と問題解決････.
3.行動特性. ･･
4.ビジネス知識･･.
5.コミュ＝ケーションスキル･･
6.人闇関係のスキル･･. ････
7.ソフトウェアアプリケーション
索　引. ･･. ････.

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

研究プロジェクトに寄せて（私見）

研究プロジェクト

「システム要件定義フェーズにおける組織的プロジェクトマネジメント成熟度が
プロジェクトの成否に及ぼす影響の研究計画」
Research plan of influence which the organizational project management maturity
in a system requirement definition phase exerts on the project success or failure
駒井　忍 (PMP、PMI日本支部OPM3研究会メンバー)
村田茂之（IIBA日本支部BABOK-WGメンバー，ITｺﾝｻﾙ&ﾃﾞｻﾞｲﾝﾗﾎﾞ株式会社）
２０１１年度情報システム学会研究計画として発表予定

意見１:
仮説の実現性を考えるのには

◆統計モデルとして扱うには、サンプリング数が少な過ぎ、統計的有意性検定には厳しいのでは。

◆モデル化を行うには、まずはFishbornchart型で要因を抽出してみることこと。

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.

研究プロジェクトに寄せて（私見）

意見2:

■まずは、「プロジェクトの成否の判定」をどのように計数化するかです。
原文のFigure1について、「ProjectResult」をgood、badでなく数値化または段階値など計量化すべきですし、
同じくFigure2のTopManagement、BusinessManager、ITDepartmennto、ITVendor等々のステークホルダーの再抽出とそれ毎の計量化測定が必須です。
どうでしょう？

■これに合わせて、「要件定義の良し悪し」の説明変数を項目的に抽出できるかが重要になります。要件定義も要件定義項目が漏れていて、ウォーターフォールの最終工程で致命的になるケース、後戻りでも途中で追加・修正できるケース、要件定義がきつ過ぎて過剰品質になるケースなどなど・・・・・
駒井さんの言われる組織PM成熟度は、要件漏れ、組織コンセンサスなど要件定義レビューまたは承認プロセスに関わることではないかと考えます。如何でしょうか。

■最後に
BABOKと過去プロジェクトの評価をやっている他のIIBAのWGともご指摘を頂きます。

Copyright ITconsult & granddesign laboratory co.